

## 葉っぱのフレディ (いのちの旅)

(レオ・バスカーリア作)

### ■編集者からのメッセージ

この絵本を 自分力で「考える」ことをはじめた子どもたちと 子どもの心をもった大人たちに贈ります。わたしたちはどこから来て どこへ行くのだろうか。生きるとはどういうことだろうか 死とは何だろうか。人は生きていくかぎりこうした問いを問いつづけます。この絵本が 自分の人生を「考える」きっかけになってくれることを祈ります。この本は アメリカの著名な哲学者 レオ・バスカーリア博士が書いた生涯でただ一冊の絵本です。(田中和雄)

### ■作者からのメッセージ

この絵本を 死別の悲しみに直面した子どもたちと 死について適格な説明がで

きない大人たち 死と無縁のように青春  
を謳歌している若者たち そして編集者  
バーバラ・スラックへ 贈ります。

(レオ・バスカーリア)

■ものがたり (みらい なな 訳)

春が過ぎて 夏がきました。葉っぱのフレ  
ディは この春 大きな木のこずえにち  
かい 太い枝に生まれました。そして夏に  
はもう 厚みのある りっぱな体に成長  
しました。

.....

フレディがおりたところは雪の上です。  
やわらかくて 意外とあたたかでした。引  
っこし先は ふわふわして居心地のよい  
ところだったのです。フレディは目を閉じ  
ねむりに入りました。

フレディは知らなかったのですが・・。  
冬が終わると春が来て 雪はとけ水にな

り 枯れ葉のフレディは その水にまじり 土に溶けこんで 木を育てる力になるのです。

“いのち”は土や根や木の中の 目には見えないところで 新しい葉っぱを生ま出そうと 準備をしています。大自然の設計図は 寸分の狂いもなく “いのち”を変化させつづけているのです。また春がめぐってきました。

(葉っぱのフレディ：レオ・バスカーリア作、みらいなな訳、童話屋)